習志野市消防委員会委嘱状交付式

日時：令和７年６月２５日（水）午後４時
場所：消防本部庁舎３階　屋内訓練室

式　次　第

１　開式
２　委員紹介並びに委嘱状交付
３　事務局職員紹介
４　閉式

令和７年度第１回習志野市消防委員会

日時：委嘱状交付式終了次第開始
場所：消防本部庁舎３階　屋内訓練室

会　議　次　第

開　　会

日程第１　委員長の選出
日程第２　副委員長の選出
日程第３　会議録の公開（非公開）
日程第４　会議録の作成等
日程第５　会議録署名委員の指名
日程第６　報告
（１）令和７年中の火災発生状況について
（２）ＡＥＤの屋外設置について
（３）消防車両等の更新状況について
（４）中央消防署秋津出張所移転建替基本計画書について
日程第７　その他

閉　　会

習志野市消防委員会　委員名簿			
所管　　消防本部　消防総務課			
役職	（フリガナ） 氏名	委員選出区分	職業（所属団体）等
委員	ミヤモト　ヒロユキ 宮本　博之	市議会議員	習志野市議会議員
委員	タカハシ　マサアキ 髙橋　正明	市議会議員	習志野市議会議員
委員	タナカ　ケイコ 田中　慶子	市議会議員	習志野市議会議員
委員	イケダ　ヒロシ 池田　　博	学識経験者	前習志野市消防団団長
委員	クリュウ　カズオ 栗生　一男	学識経験者	千葉工業大学施設部次長
委員	ムラタ　トモミ 村田　智美	学識経験者	千葉県済生会習志野病院 患者支援センター副センター長
委員	シシクラ　ノボル 宍倉　　昇	消防関係者	習志野市消防協力隊顧問
委員	イイダ　ユウイチ 飯田　裕一	消防関係者	習志野市消防団団長
委員	イトウ　ヒロキ 伊東　弘樹	消防関係者	習志野市消防団副団長

敬称略

令和７年度第１回習志野市消防委員会出席者一覧

順不同

【消防委員】

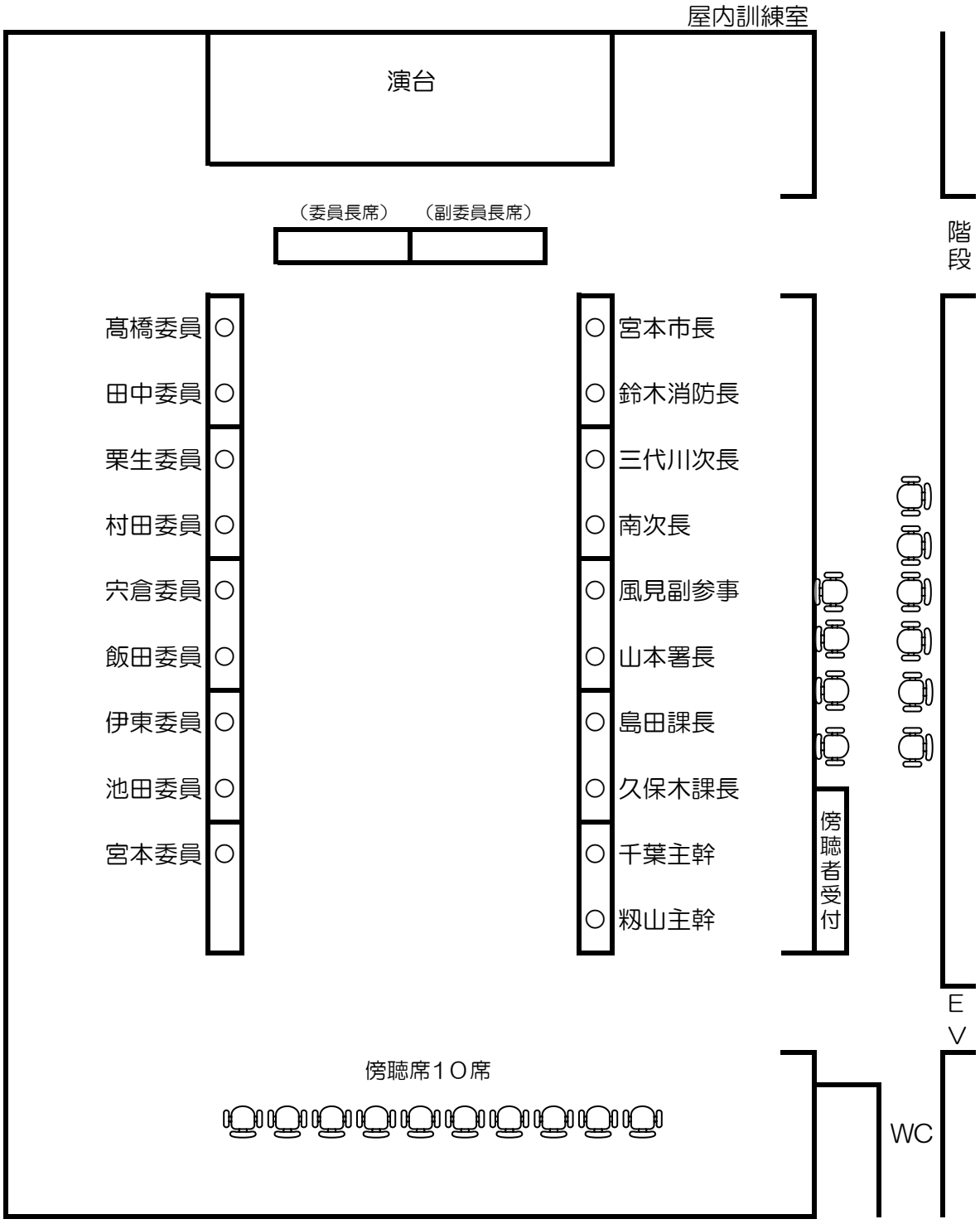
１	委　員	（市議会議員）		宮　本　博　之　様
２	委　員	（市議会議員）		髙　橋　正　明　様
３	委　員	（市議会議員）		田　中　慶　子　様
４	委　員	（学識経験者）		池　田　　博　様
５	委　員	（学識経験者）		栗　生　一　男　様
６	委　員	（学識経験者）		村　田　智　美　様
７	委　員	（消防関係者）	消防協力隊顧問	宍　倉　　昇　様
８	委　員	（消防関係者）	消防団長	飯　田　裕　一　様
９	委　員	（消防関係者）	消防団副団長	伊　東　弘　樹　様

【習志野市長】　宮　本　泰　介

【消防本部】

１	消防長	鈴　木　憲　一
２	総務担当次長	三代川　茂　正
３	警防担当次長 （中央消防署長事務取扱）	南　　秀　功
４	副参事 （警防課長事務取扱）	風　見　利　勝
５	東消防署長	山　本　　淳
６	消防総務課長	島　田　佳　和
７	予防課長	久保木　敏　行

令和７年度第１回習志野市消防委員会



令和7年度第1回習志野市消防委員会
令和7年6月25日（水）　**【資料1】**

令和7年中の火災発生状況について

予防課

1　火災の発生状況

令和 7 年における火災発生件数は、1 月から現時点までに **27 件**となっており、これは**令和 6 年の年間発生件数 29 件**と比較しても、非常に速いペースで推移しています。すでに過去 10 年間の“平均発生件数（26 件）”を上回っている状況です。

また、令和 6 年の同時期と比較すると、1 月は **4.5 倍**、2 月は **6 倍**、3 月は **2 倍**の件数となっており、顕著な増加傾向が見られます。

火災発生件数比較　※令和 7 年 6 月 22 日時点

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
令和 7 年	9 件	6 件	6 件	2 件	3 件	1 件
令和 6 年	2 件	0 件	3 件	3 件	2 件	2 件

火災の種別では、**枯れ草などの火災 13 件**、**建物火災 11 件**、**車両火災 3 件**と、いずれも多く発生しています。原因については現在調査中ですが、**放火やたばこの不始末、コンロやストーブの消し忘れ**といった**人的要因**に加え、**特に例年に比べて降水量が少なく、空気の乾燥が続いている**ことなどの**環境的要因**も重なり、火災の発生が増加していると考えられます。

人的被害としては、住宅火災により既に **2 名の尊い命が失われ、負傷者も 1 名**発生しています。

物的被害に関しては、建物火災による焼損面積が該当しますが、令和 6 年の 109 平方メートルに対し、令和 7 年は現在調査中のものもありますが、378 平方メートルと約 3.5 倍の被害となっています。

2　火災急増に対する新たな取り組み

令和 7 年に入ってから、市内では火災の発生件数が明らかに増加傾向を示しています。この深刻な状況を受けて、消防本部では火災の未然防止を目的とした新たな取り組みを開始しました。

（1） 公式 LINE 等を活用し防火啓発活動の強化

① 市内小学生による防火図画の活用

小学生が描いた防火図画を消防本部ホームページや公式 LINE アカウントに掲載し、火災発生件数が増加していることを「重要なお知らせ」や「火災が急増中‼」といった見出しを添えて注意喚起を発信。また火災発生件数の状況を随時更新。

② 火災原因に応じた季節ごとの広報

季節ごとに火災リスクの高まる原因をテーマとした啓発活動を展開。例えば、冬季には「暖房器具の取り扱い」について注意喚起を実施。

③ 増加傾向にある火災原因の情報発信

近年、火災原因として「放火」及び「電気機器の不具合」が上位に挙げられています。消防本部の対応としては市ホームページや LINE 公式アカウントを通じて情報発信を行っています。

特に、近年増加傾向が顕著な「電気機器」の中でも、リチウムイオンを使用したモバイルバッテリーなどの充電式電池による火災が問題となっています。モバイルバッテリーについては、落下などの衝撃によって内部が損傷し、出火に至るケースが確認されています。

このようなリスクへの注意喚起としては、**習志野市公式 YouTube チャンネル 習志野市長ニュース**において市長からのメッセージや、クリーン推進課からもゴミ収集に関して広報が実施されています。

④ J:COM ウェブサイトへの掲載依頼

市ホームページ以外での情報発信の拡充を図るため、J:COM のウェブサイト＃防災「緊急事態！火災発生件数が激増中」と防火に関する情報を掲載。

⑤ 市庁　舎内テレビモニターの活用

来庁者への効果的な情報提供を目的に、市庁舎内のテレビモニターで防火啓発映像や情報を放映。

（2） 地域への啓発活動

① まちづくり会議での広報

消防団員が地域のまちづくり会議に参加し、防火・防災に関する情報提供や意見交換を実施。

② 自主防災訓練・救命講習での啓発

地域住民を対象とした自主防災訓練や普通救命講習において、住宅防火に関する広報を併せて実施。

③ 消防車による防火広報の強化

例年 11 月から 3 月に実施している防火広報活動を令和 7 年は回数を増加して実施。

④ 重点地域での防火パトロール

放火や火遊びが疑われる公園や住宅密集地など火災リスクの高い地域を、赤色灯を灯火した消防車による巡回で重点的に警戒を実施。

（3） 今後予定している取り組み

① 事業所との連携による啓発活動

市内の物品販売店等に訪れる利用者を対象に、住宅防火に関するリーフレット配布等により広報活動を実施。

② 公共施設での広報活動

サークル等の施設利用者に対しても、同様に防火に関する情報を提供し、住宅防火の重要性を周知。

これらの取り組みを通じて、市民一人ひとりの**防火意識の向上を図り、火災発生件数の抑制**に引き続き努めてまいります。

令和7年度第1回習志野市消防委員会
令和7年6月25日（水）　**【資料2】**

AEDの屋外設置について

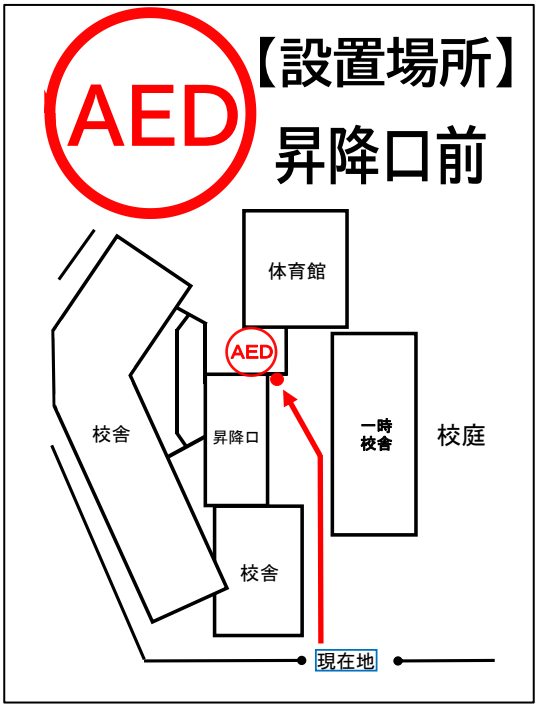
警防課

市立の全小中高等学校24校（小学校16校、中学校7校、高等学校1校）の校舎内に配置していたAEDを、いつでも使用できるように屋外用収納ボックスを新たに設置して移設しました。

各学校の正門付近には、AEDの設置場所を示す案内図を掲示するとともに、市ホームページにも設置場所等についての案内を掲載しております。

《屋外設置用ボックス》

《案内図》



《設置場所一例：谷津小学校》

令和7年度第1回習志野市消防委員会
令和7年6月25日（水）　**【資料3】**

消防車両等の更新状況について

警防課

1　令和6年度更新車両（藤崎救急1・秋津救急1）　計2台

【藤崎救急1】藤崎出張所に配置

【秋津救急1】秋津出張所に配置

　車体のカラーリングについては、ラムサール条約登録地である谷津干潟の「渡り鳥・水鳥」をイメージしたデザインを施しております。

　各所属で色分けしている消火用ホースの色と合わせて、藤崎救急1は黄色、秋津救急1は青を車両の一部(前後左右)に使用したデザインとしております。

【積載資器材・高度救命処置用資器材】

搬送資器材（メインストレッチャー）

自動体外式除細動器

2　令和7年度更新予定車両（中央水槽１・中央救急2）　計2台

【中央水槽１】中央消防署に配置

水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型

※Ⅰ型（水槽容量1，500L以上）　Ⅱ型（水槽容量2，000L以上）

※同型車両画像

＜比較表＞

規　　格	従来型水槽車	導入予定水槽車	備　　考
全　　長	約6．900m	約7．135m	・導入予定水槽車は、5，000Lの水を積載できるため、従来型より3倍強の消火用水を確保 ・高速道路上など、十分な消火用水を得られない現場においても効果的な運用が可能
全　　幅	約2．21m	約2．33m	
全　　高	約2．76m	約3．15m	
定　　員	6人	6人	
水槽容量	1，500L	**5，000L**	
放水時間	約3分	**約10分**	

【中央救急2】中央消防署に配置

令和6年度に更新した救急車(藤崎救急1・秋津救急1)と同規格の車両を導入予定

令和7年度第1回習志野市消防委員会
令和7年6月25日（水）**【資料4-1】**

中央消防署秋津出張所移転建替基本計画書について

消防総務課

1　秋津出張所建替事業の概要

老朽化が著しく、耐震安全性の確保が必要であることから、第２次公共建築物再生計画に計画されている事業年度（令和１３年度）から前倒しして進めることとし、令和6年度から事業化して次の2つの委託業務を実施しました。

① 秋津出張所移転建替工事に伴う確定測量業務委託

② 秋津出張所移転建替基本計画策定業務委託

2　秋津出張所移転建替基本計画策定業務委託の内容

現在の秋津出張所に隣接する習志野緑地（秋津公園）の駐車場を移転建替え予定地として、問題点や建築可能で合理的な位置、配置、規模及び設計条件の検討を行い、基本計画書としてまとめました。

3　基本計画書の概要

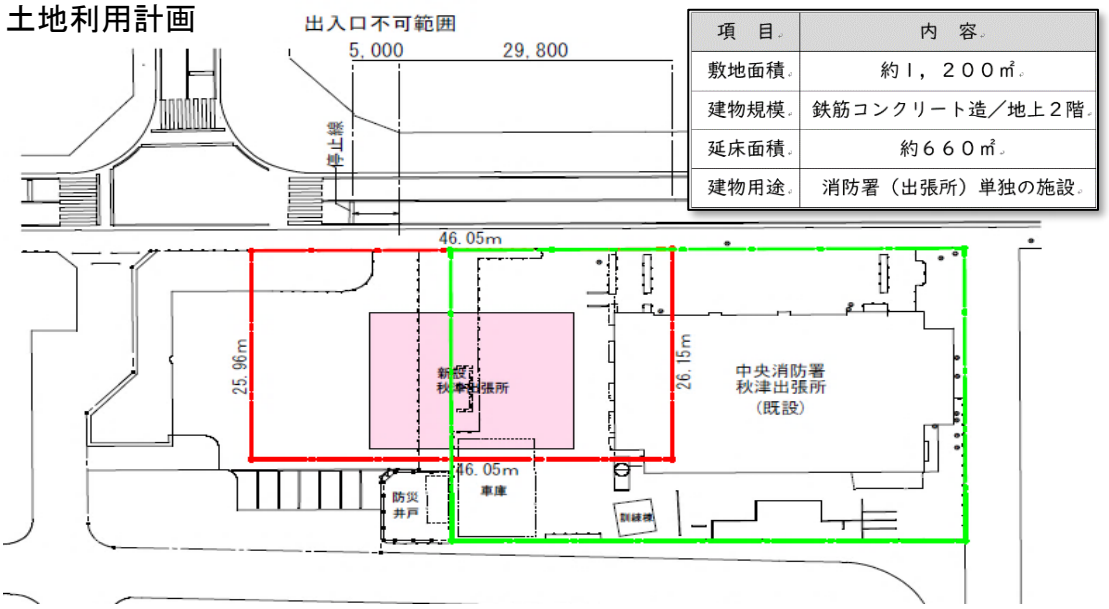
（1） 基本理念

① 迅速かつ安全な緊急出動ができる動線計画
② 財政負担を軽減するためのイニシャル及びランニングコストの抑制
③ 感染症への対応や働き方改革など時代の変化への対応
④ 迅速かつ円滑な新施設への移行

（2） 計画方針（一部抜粋）

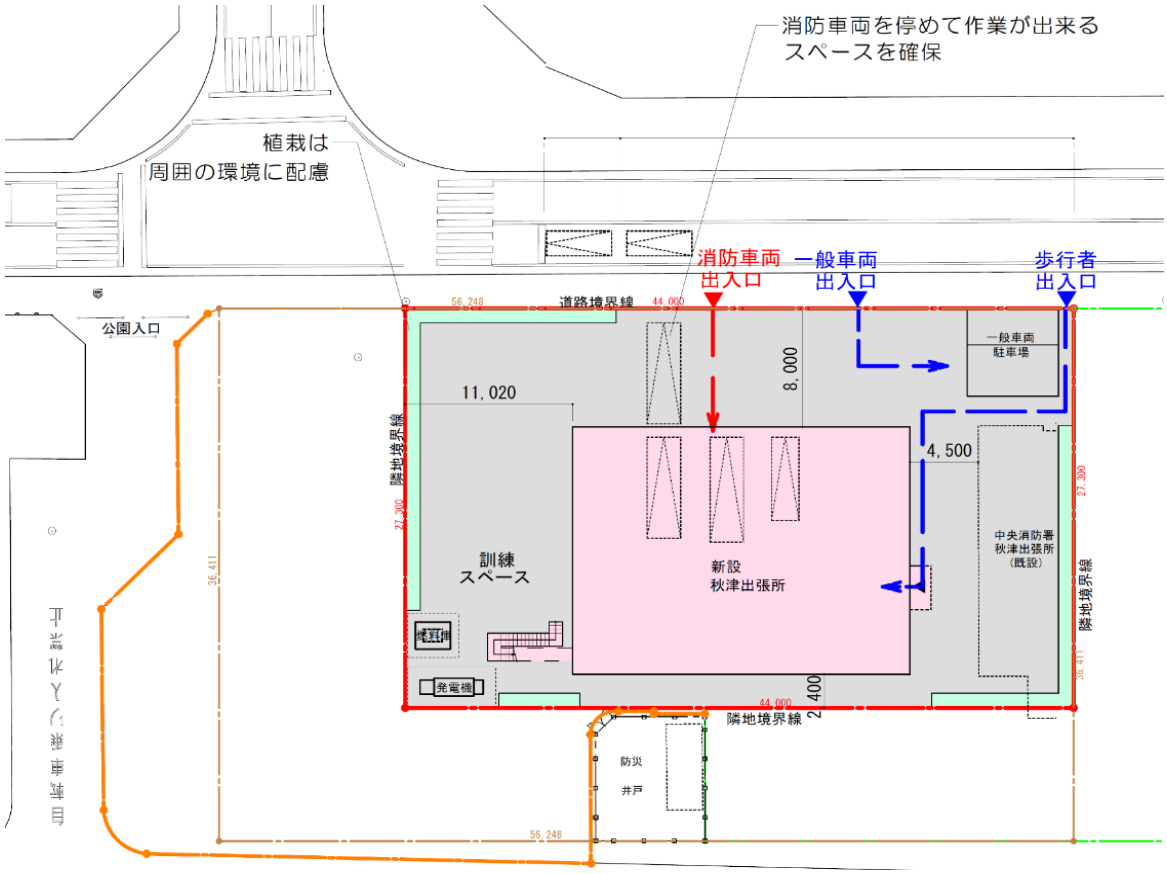
① 迅速かつ安全な緊急出動ができる車両動線
② 訓練施設の充実
③ 合理的な施設規模の設定
④ 待機する消防職員の利便性、居住性とプライバシーへの配慮

4　土地利用計画

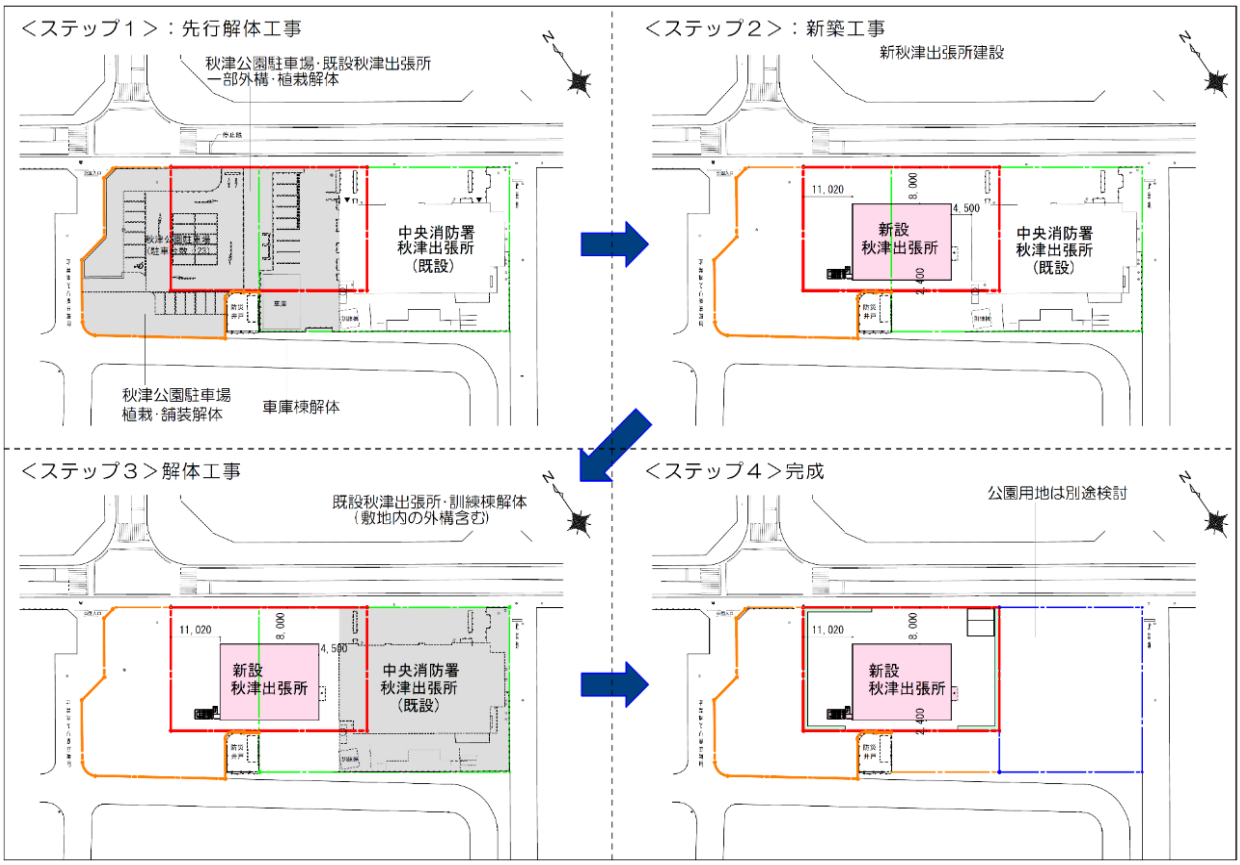


項　目	内　容
敷地面積	約１，２００㎡
建物規模	鉄筋コンクリート造／地上２階
延床面積	約６６０㎡
建物用途	消防署（出張所）単独の施設

5　配置計画（車両・歩行者導線）



6　工事概略ステップ

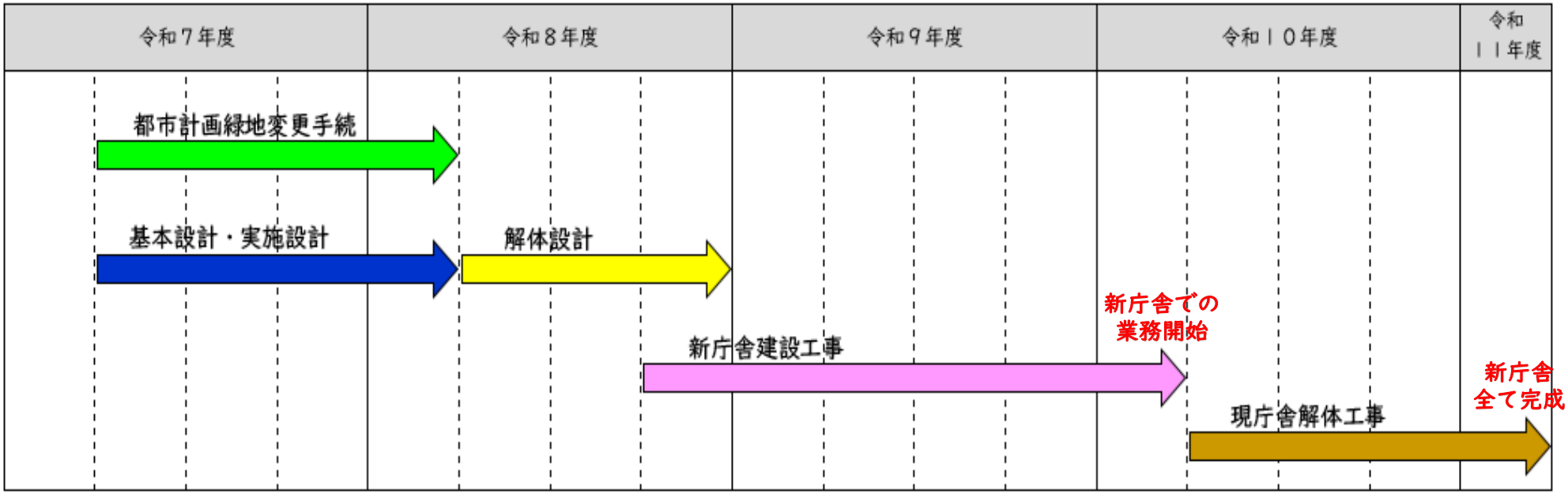


令和7年度第1回習志野市消防委員会
令和7年6月25日（水）**【資料4-2】**

7　事業スケジュール予定

都市計画緑地の変更手続きも含めた移転建替えに係る現時点の事業スケジュールについては、次のとおり予定しています。

また、秋津公園駐車場に移転建替えすることに伴い都市計画緑地を変更するため、広く住民等へ説明し意見を聴くための「都市計画緑地変更に関する説明会」を、令和7年7月5日（土）10時から新習志野公民館において開催する予定です。



※スケジュールは現時点の予定であり、今後、設計や工事の進捗状況により変更となる可能性もあります。

令和7年度第1回習志野市消防委員会
令和7年6月25日（水）　**【その他】**

令和7年度消防本部事業等（予定）に係る消防委員の皆様へのお知らせ

No.	事業名等	案内状送付対象	
		委員長	副委員長 各委員
1	6月15日（日）　※開催済み 習志野市消防団ポンプ操法大会	○	○
2	10月　6日（月） 屋内消火栓消火競技大会	○	―
3	12月上旬から中旬 習志野市消防団年末懇親会（会費制）	○	○
4	令和8年1月11日（日） 令和8年習志野市消防出初式	○	○

【備考】各事業の実施内容等の詳細については、案内状の送付にてお知らせいたします。